

# 市議報 2021 丸山哲平 市議会 報告

2021年10月発行



国分寺市議会議員 丸山哲平です。今回は9月6日から10月4日にかけて開催された国分寺市議会第3回定例会での一般質問の要旨(裏面参照)と同定例会で認定された令和2年度決算概要を中心にご報告致します。

プロフィール：1981年5月26日生まれ 家族：妻、長女、長男  
 みふじ幼稚園、国分寺市立第五小学校、国分寺市立第一中学校、  
 早稲田大学高等学院、早稲田大学法学部、三井物産株式会社、公益財団法人 松下政経塾を経て、  
 2015年4月より国分寺市議会議員(現在2期目)  
 所属：新庁舎建設等特別委員会(委員長)、建設環境委員会、議会運営委員会

## 令和2年度 国分寺市一般会計・特別会計が全て認定されました

概要 \*詳細は後日発行される市報(11月1日号)をご参照下さい。

一般会計歳入決算額：639億2,199万7,516円 一般会計歳出決算額：619億9,287万7,270円  
 ・決算額としては過去最大規模。増加の最大要因は特別定額給付金給付事業費補助金の約125億円。  
 ・**新型コロナウイルス感染症対策事業**として約**147億3,404万円**を支出。うち市負担は約2億1,425万円。  
 ・**経常収支比率**は前年度の94.5%から93.4%と**1.1%改善**。その他財政指標も改善傾向。  
 ・市税については法人住民税が約2.02億円減少も個人市民税は約2.09億円増加し、市税全体では  
 昨年度比で245,806円の減少に留まる。(増減率0%)  
 全会計歳入決算額：874億4,146万1,915円 全会計歳出決算額：850億6,360万8,736円

決算とは昨年1年間の当市の収入と支出の総実績を示すもので、令和2年度決算特別委員会は9月27日～29日の3日間開催され、私も委員として参加し効果と評価を行いました。

委員会では様々な質疑を通して、新型コロナウイルス感染症対策という未曾有の危機に対して、行政各部各課が通常業務を行いながら**市民の安心安全を守るために適切な業務執行を行っていたこと**、また財政運営についても**危機対応を行いつつも健全財政の維持に努めたこと**が明らかとなりました。結果、私は今回の全会計の決算認定に**「賛成」**致しました。

なお今後について懸念もあります。その一つは税金と財政規律です。本決算では法人住民税が減収となるも個人市民税が人口/納税者増加等の要因で増収となりました。しかし新型コロナウイルス流行から2年近くが経過し、今後個人市民税においても悪影響が出てくることは十分想定されます。こうした中、市民生活を守るための必要な支出を確実にしつつ、財政規律を維持させるにはこれまで以上に一つ一つの事業の必要性和効果の検証が欠かせません。引き続き議員として建設的且つ時に厳しい姿勢でさらに適切な行政経営を求めて参ります。

### 国分寺市 新型コロナウイルス関連情報はこちら

国分寺市 HP にて日々更新・発信されています。

<http://www.city.kokubunji.tokyo.jp/kurashi/1008592/1022636/index.html>



### 新型コロナワクチン接種情報はこちら

ワクチン概要、接種会場・スケジュール等の情報を日々更新しております。

<https://www.city.kokubunji.tokyo.jp/kurashi/1008592/1022636/1025222/index.html>



**電子図書サービスについて**  
市民ニーズの多様化に対応した  
次世代の図書サービス確立を求めます。

**丸山**：昨年、電子図書導入の提案を行った。その際、図書館運営協議会に諮問、研究を進めていくとの答弁だったが最新状況はどうなっているか。

**教育部長**：協議会はこれまで4回開催、現在答申作成中である。電子図書サービスを新しい生活様式に対応した非来館型のサービスとして導入促進を提言する方向で議論が進められている。

**丸山**：答申が出た後、市ではどのように対応していくのか。私からは来年度からの導入を強く求めるがどうか。

**教育部長**：以前より導入経費が安くなっているとの調査もある。答申内容を踏まえ費用対効果の精査も行い、段階的な導入等含め検討して参りたい。

**デジタルサービスの今後**  
市民の利便性向上に資するデジタル  
活用を遅滞なく進めよ。

**丸山**：市ではこれまで押印の見直し等、省力化による利便性向上と安心・安全への寄与を進めてきた。今後は市民が行う手続き自体のデジタル化を進める必要がある。どの手続きをどのタイミングで電子化していくのか伺う。

**政策部長**：国は令和4年度末までに子

育て・介護関係の手続きデジタル化を、令和7年度末に自治体の主要業務システムを標準化・共通化させることとしている。市として国の動向と費用対効果をしながら取り組む必要がある。まずデジタル化推進方針を策定し、その中で具体的取組みを明らかにして参る。

**リモート学習について**  
教育委員会で主体性を発揮し、子どもたちの学びの機会のさらなる充実を。

**丸山**：新型コロナウイルス感染症は足元若干収まってきたが予断は許されない状況だ。また有効な対策とされるワクチン接種は現在満12歳以上を対象とし、大部分の小学生は接種が出来ない。早急にリモート学習の体制構築を進める必要がある。現状はどうか。

**教育部長**：学びの継続は極めて重要と認識している。各校にタブレットのより積極的な活用を呼びかけている。

**丸山**：現下の状況で各校の自主的判断に任せるのは限界がないか。教育委員会中心に全体で統一感ある対応が必要だ。モデル校を指定し検証と全校への展開を進めるべきと考えるがどうか。

**教育部長**：第4中学校でタブレットを活用したオンライン授業を行った。課題を把握し、全校に文書で情報提供も行った。スピード感を持って取り組む。

**TOPICS 民設民営学童での高学年児童(4年生)受入れ試行実験がスタート**

私はこれまで議会の一般質問等(前回市議報でも報告)で、定員に空きのある民設民営学童保育所において高学年児童受入れの試行実験を求めて参りました。

結果、今回**一部の民設民営学童保育所で高学年児童(4年生)受入れの試行実施がスタート**することとなりました。行政に対しては提言をしっかりと受け止め対応してくれたことを高く評価すると共に、今後試行実験を通して把握されるであろう実際の需要や課題をしっかりと分析し、さらなる充実した制度設計に繋げていくことを私自身のさらなる具体的提言と共に求めて参ります。

市民の方々にはそれぞれニーズがあり、その一つ一つは尊重すべきものです。ただ実際には財政や人員等資源に限りがあるのも事実であり、ただ単に行政にあれもこれもやって欲しいと言うだけでは議員として責任ある仕事とは言えません。私は今後とも現実をしっかりと踏まえながら、しかし確実に市民生活を支え、向上させていく政策提言とその実現を目指し活動して参ります。



参考 URL :

<https://www.city.kokubunji.tokyo.jp/kurashi/1008608/1008673/1026249.html>



お問い合わせ・連絡先 **丸山哲平 事務所**

〒185-0032 東京都国分寺市日吉町 2-20-9

TEL : 042-806-9813 FAX : 042-806-9877

E-Mail : info@teppei-maruyama.jp

HP : <http://www.teppei-maruyama.jp>

**市議報** 2021 **丸山哲平** 市議会  
報告

発行人 丸山哲平事務所